








体温管理療法を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明: 病名は()です。
 原因に対する治療と並行して体温管理療法を実施します。実施期間は3日間です。
 ◆病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査・治療を進めていくにしたがって変わることがあります。
 ◆治療実施期間については現時点で予測される期間です。

終了基準
 1.治療が安全に行われ、平温を維持している
 2.人工呼吸器を使用し、酸素飽和度が95%以上である
 3.血圧・脈拍等循環が安定している

	入院日(/)	1日目:維持期(/)	2日目:復温期(/)	3日目:復温完了期(/)	4日目以降
治療・薬剤 (点滴・内服)	<ul style="list-style-type: none"> ●体内に挿入したカテーテルを用いて体温調節をする治療です。 ●全身麻酔薬を24時間持続点滴し、終日深く眠った状態になります。 ●脳を保護する点滴を実施します。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> ●鼻から胃に栄養剤や内服薬を注入するための管(胃管)が入っています。 ●膀胱に排尿のための管が入っていて、センサーにより膀胱内部(身体の深部)の体温を持続的に測定します。 ●下肢の静脈血栓を予防するための機器(フットポンプ)を装着します。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査、喀痰検査や心電図、全身のCT検査があります。 ●胸部レントゲン病棟撮影があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●胸部レントゲン病棟撮影があります。 ●必要に応じて、血液・喀痰の検査があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●胸部レントゲン病棟撮影があります。 ●必要に応じて、血液・喀痰の検査があります。 ●全身のCT検査があります。 ●必要に応じて脳波検査を行う場合があります。 		
活動・安静 リハビリ テーション	<ul style="list-style-type: none"> ●全身麻酔薬を24時間持続点滴し人工呼吸器を使用します。深く眠った状態になるため、治療中の患者さんとの会話はできません。 ●患者さん自身の意識はなく、身体の痛みも感じません。 ●ベッド上で絶対安静になりますので、床ずれ予防のため看護師が寝返りを定期的に行います。 ●看護師または理学療法士が関節の拘縮予防のためのリハビリテーションをベッド上で行います。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> ●全身麻酔薬により深く眠った状態になりますので、食事は食べられません。水分も摂ることはできません。 ●胃管から栄養剤を注入します。 ●平温に戻ってからは、点滴に使用するためにあらかじめ挿入された管から1日に必要なカロリーを補う持続点滴を実施します。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師が全身をタオルで拭きます。手・足浴、洗髪を行います。 ●看護師が4時間ごとに歯磨きを行い、口の中を清潔にします。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●膀胱に排尿のための管(膀胱留置カテーテル)が入っています。 ●整腸剤と緩下剤の内服を行います。排便はベッドの上で寝たまま行っていただきます。排便がみられない時は下剤を使用する場合があります。 				
患者さん 及び ご家族 への説明	<ul style="list-style-type: none"> ●医師が病状と治療計画について適宜説明いたします。 ●看護師が集中治療室の入室方法、患者さんの入院生活について説明いたします。 ●面会時間は1日2回(午前10時と午後6時)で、1回に2~3名で10分間とさせていただきます(病状に応じて変更する場合があります)。 ●患者さんがいつも使用されている生活用品(歯ブラシ、くしなど)を使用しますので、必要物品の準備をお願いいたします(看護師から説明しリストをお渡しします)。 		<ul style="list-style-type: none"> ●わからないことや不安なことがある時はいつでもお尋ねください。医師が病状について適宜説明いたします。 		<ul style="list-style-type: none"> ●医師が体温管理療法後の検査結果と今後の治療方針について適宜説明いたします。 ●集中治療室から退室し一般病棟に転棟する場合があります。 